

量子コンピュータ

―開発者が明かすしくみと可能性

東京大学大学院工学系研究科准教授

武田 俊太郎
ただ しゅんたろう

- * 注目されたが誤解も
- * 激しくなる国際競争
- * ムーアの法則にも限界
- * グーグルニュースの真相
- * 量子力学の現象
- * 「重ね合わせ」と「干渉」がミソ
- * 60テーマで有因
- * 日本には優れた開発者多い
- * 課題はエラー訂正
- * 本命見えず、光も面白い



山縣 それでは開会いたします。（拍手）

結構寒暖の差がありますけれども、皆様連休はいかがお過ごしだったでしょうか。

本日は連休明け第1回ということで、東京大学大学院の工学系研究科准教授でおられます武田俊太郎先生にお越しいただきました。

先生は、若くして日本独自の量子コンピュータ開発の最前線に立っていらっしゃる俊英ですが、量子コンピュータのことで武田先生という方がいらつしやるから、ぜひお呼びしてご講演をいただけないだろうかというご要望がありました。われわれも本を読ませていただいたりして、うちの事務局長が先生にご連絡をしてお願したところ、ご快諾いただいて今日に至った

ということとあります。

先生の講演の告知をさせていただきましたら、やはり会員さんの中から、もう先生のご本を読みましたという方もいまして、量子コンピュータについて非常に皆さんの関心が高いということとを私としても感じた次第であります。

先生のご本は、これがいちばん易しい一般向けに書かれた本ですけれども、『量子コンピュータが本当にわかる！』という技術評論社から出ている本です。これはいろいろな比喻も使って、非常にわかりやすく、私でも理解できた——理解できたと思ったんですけれども、先生は高校生の方にも読んでもらって、先生の後に続くような方なるべくつくりたいというお考えもあって、書かれたということとありました。